

令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 赤平市内の小・中学校の状況及び今後の体力向上策

学校数：小学校1校・児童数214名、中学校1校・生徒数130名

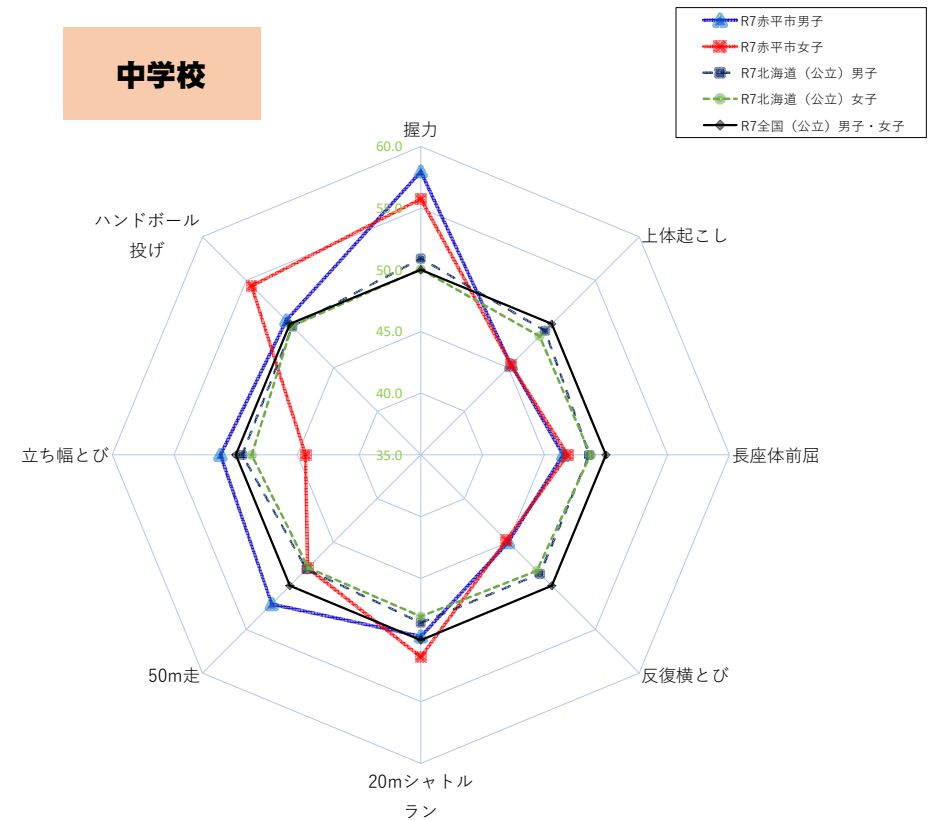
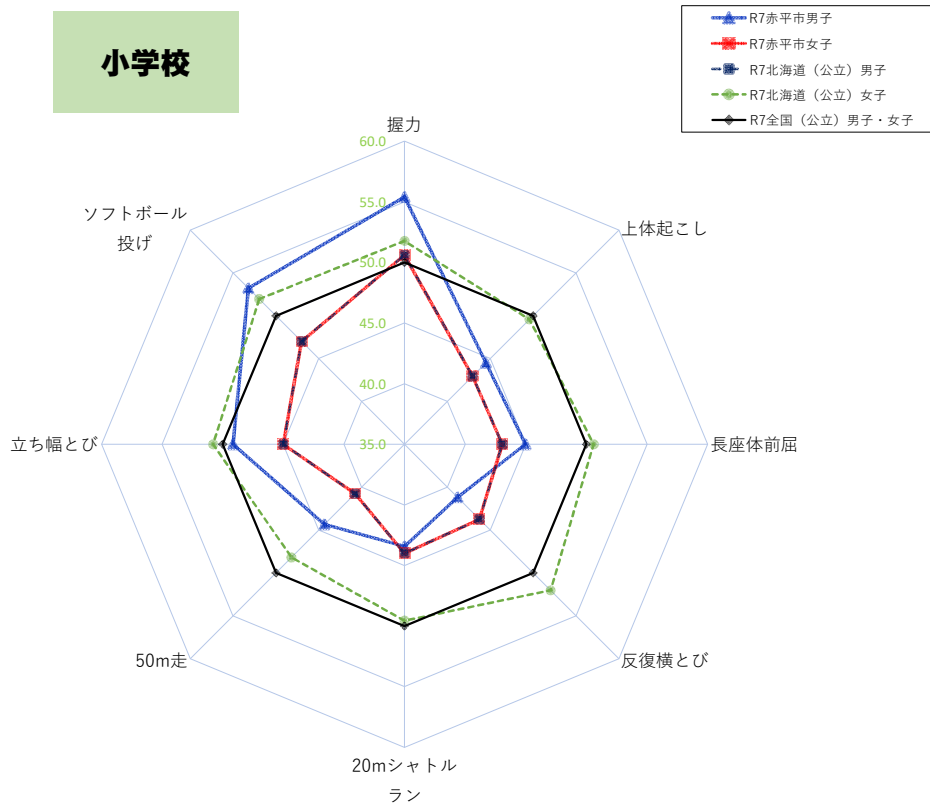
○ 実技に関する調査の状況

・各種目の記録及び体力合計点

小学校	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
R7赤平市男子	18.06	16.06	29.38	33.38	33.94	10.09	148.81	23.75	47.50
R7赤平市女子	15.84	14.37	31.78	33.95	27.21	10.69	130.21	11.68	45.94
R7北海道(公立)男子	16.68	18.90	34.13	41.71	45.85	9.66	152.08	21.72	53.00
R7北海道(公立)女子	16.24	17.54	38.38	39.11	34.35	9.96	143.65	13.56	53.55
R7全国(公立)男子	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
R7全国(公立)女子	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

中学校	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
R7赤平市男子	34.81	23.15	41.18	46.95	78.05	7.80	201.57	21.00	41.67
R7赤平市女子	25.89	18.85	43.58	41.65	53.28	9.16	150.26	14.33	43.88
R7北海道(公立)男子	29.32	25.54	43.64	49.85	75.47	8.15	196.24	20.38	40.88
R7北海道(公立)女子	22.89	20.53	45.54	43.55	46.10	9.19	161.40	11.92	44.70
R7全国(公立)男子	28.95	26.09	45.12	51.64	78.82	8.00	197.51	20.74	42.20
R7全国(公立)女子	23.15	21.70	46.99	45.74	50.60	8.97	166.44	12.43	47.58

・各種目の全国平均値を50とした場合(T得点)の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで表示

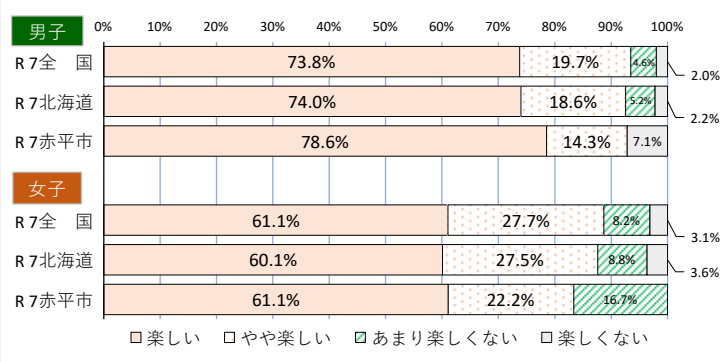


○ 質問調査（児童生徒質問調査・学校質問調査）の状況

小学校

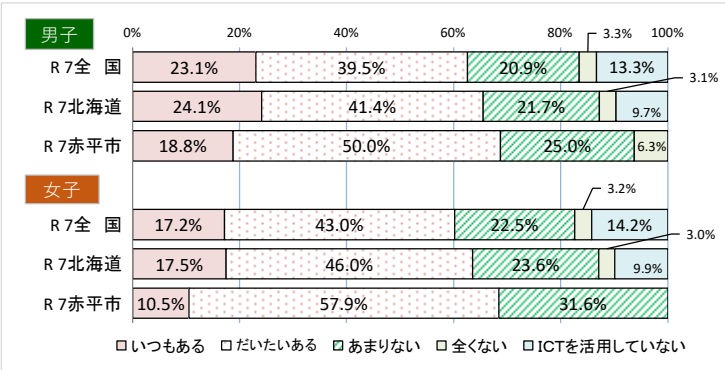
【児童質問調査】

・記録に挑戦したり、競い合う体育の授業は楽しいですか。



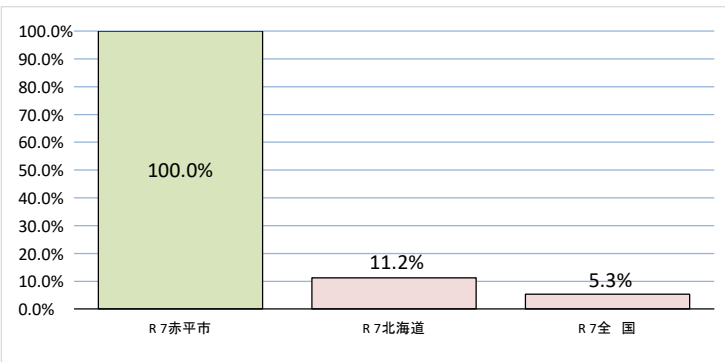
【児童質問調査】

・体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



【学校質問調査】

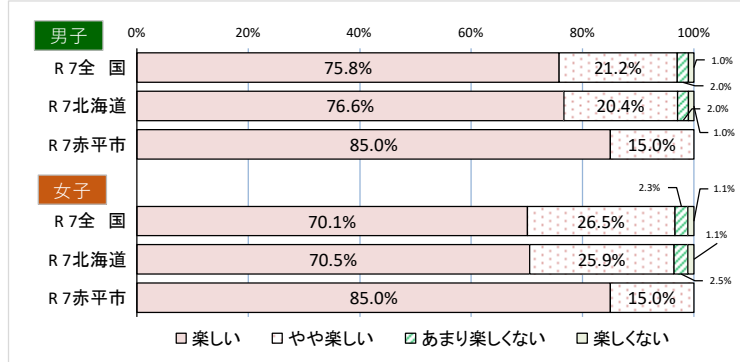
・体育授業において毎時間ICTを活用している。



中学校

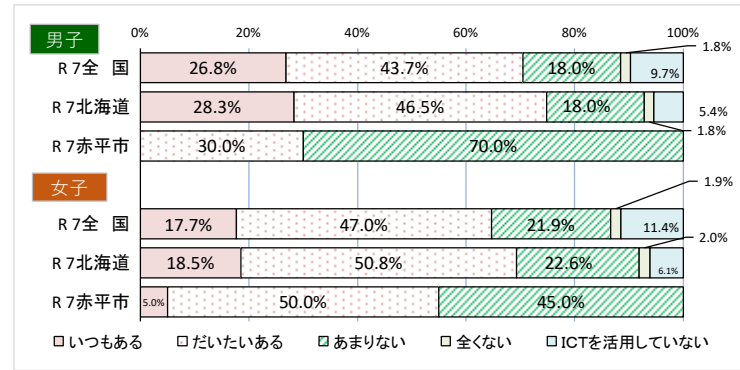
【生徒質問調査】

・できなかったことができた保健体育の授業は楽しいですか。

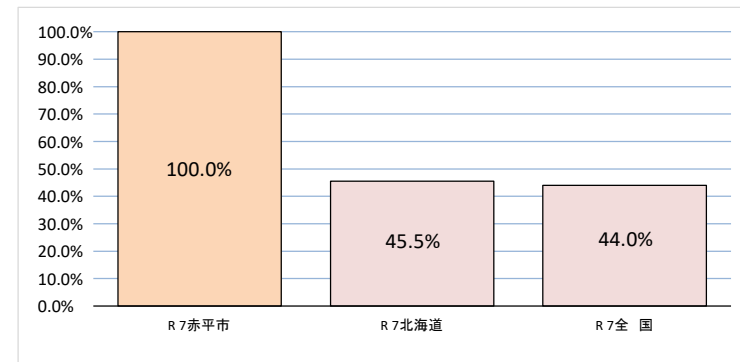


【生徒質問調査】

・保健体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



・保健体育授業において週に1時間ICTを活用している。



■ 調査結果の分析

小学校

【成果】

・小学校においては、体育授業において継続的にICTを活用し、ICTを活用しながら運動に取り組む指導の工夫を行ったことにより、運動に対する意欲が高まり、「記録に挑戦したり、競い合う授業は楽しい」と感じる児童の割合が全国及び全道と同様・上回ったと考えられる。

【課題】

・全国及び全道と比較して、ICTの活用頻度は高いものの、ICTの活用が技能や知識の定着に十分つながっていないため、体育の授業でタブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがあると肯定的に回答している児童の割合が、全国及び全道を下回ったと考えられる。

中学校

【成果】

・中学校においては、保健体育授業において週に1回の頻度でICTを活用し、学習内容の定着につなげるための指導の工夫を行ったことにより、保健体育の授業で「できなかったことができた保健体育の授業は楽しい」と肯定的に回答している生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

【課題】

・全国及び全道と比較して、ICTの活用頻度が週に1回と高く、知識や技能の定着につながっているものの、保健体育授業に対する意欲を高める指導の工夫に課題が見られることから、「できたり、わかったり」することがあると肯定的に回答している生徒の割合が、全国及び全道を下回ったと考えられる。

■ 赤平市の体力向上に向けた改善方策

- ・赤平市各校体力向上検討委員会における全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を踏まえた体力向上や体育・保健体育授業の改善・充実に係る資料の作成及び普及啓発
- ・スポーツ庁の「ICT端末を活用した体育・保健体育授業の事例集」を参考にしたデジタル学習基盤を活用した「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善の推進
- ・体力向上に向けた各学校独自の「体力向上1実践」の推進
- ・地域学校協働本部との連携による望ましい運動習慣や生活習慣の確立に向けた取組方策の検討及び事業の企画・実施